

地域再生計画（污水処理施設整備交付金）事後評価調書

都道府県名	岡山県	事業実施主体	岡山県、矢掛町	地域再生計画名	矢掛町、「自然を活かした幸せ実感計画」
計画期間	平成22年度～平成26年度	評価責任者	矢掛町 上下水道課 課長 渡邊 孝一		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績			
指標1	污水処理人口普及率の向上	78.4%	21			89.0%	26	93.9%	○	積極的に整備を進めた結果、目標を上回ることが出来た。
指標2	定住人口の増加	15,581人	22			15,471人	26	14,922人	×	予想より高齢化が進み、自然要因による人口減が当初予定より多くなった。
指標3	交流人口の増加	19万4千人	17			19万4千人以上	26	22万9千人	○	街並み整備のハード事業とメディア活用のソフト事業を積極的に進めた結果、目標を達成することが出来た。

②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1									
	指標2									

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度(H)	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業（管きよ整備）	2.8km		3.9km	積極的な整備を進め、当初予定より多くの整備量をする事が出来た。
	公共下水道事業（処理場整備）	1箇所		—	計画当初より、汚水量が伸びなかったため池の増設を延期した。
	浄化槽（個人設置型）	80基		64基	高齢者のみの世帯も多く、計画通り設置が進まなかった。合併処理浄化槽の加入率は26.4%（H22）から30.1%（H26）へ向上しているが、さらなる加入率の向上を図るため、地元説明会や補助制度の周知を進めていきたいと考えている。
その他の事業	分譲宅地造成事業	分譲住宅地の販売			土地開発公社の宅地造成分譲により、町外より31世帯の転入を受け入れることが出来た。今後も、土地開発公社における宅地造成分譲や町独自の事業を実施し、定住人口の増加を図る。
	ほたるの里事業	地域住民によるホタルの保護、養殖活動を通じて、環境保全の意識啓発			地元住民によるホタルの保護や養殖活動により、観光地として交流人口の増加につながっている。
	まちピカ応援事業	地域内の道路及び河川の清掃			計画通りに事業が行われ、地元住民及び企業等の団体によって、地域内道路及び河川の清掃美化活動等のボランティア活動を通じて、地域の財産である道路や河川に愛着心を深め、協働のまちづくりを進めることが出来た。
	水辺のプロムナード事業	地区住民による環境保全、淡水魚を中心とした環境学習等			環境学習等により、環境に対する意識啓発をすることが出来た。
	河道阻害緊急改善モデル事業	河川内の伐採及び浸漕等を実施し、環境美化意識の啓蒙及び洪水災害等の防止を図る			河川内の伐採及び浸漕等の事業により、環境意識について理解を深め、洪水等の災害に強いまちづくりを進めることが出来た。
計画外で独自に実施した事業					

④評価方法	関係部署で調査を行い、評価・検討を行った。
-------	-----------------------

⑤事後評価の公表方法	矢掛町のホームページに掲載
------------	---------------

⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、污水処理施設整備交付金を活用した公共下水道の整備及び合併処理浄化槽の整備一体的に実施し、公共下水道では整備を積極的に進めたため、污水処理人口の普及率の向上や交流人口の増加に効果を発揮できたと考えている。一方で、高齢化の進行により自然要因による人口減が多いため、定住人口の増加は達成できなかった。
------------	---

⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備が進んでおり、污水処理人口普及率の向上や交流人口の増加は、目標を達成することが出来た。このため、引き続き本地域再生計画に沿って事業を推進していきたい。また、さらなる污水処理人口の普及や交流人口の増加を図るため、積極的な整備を進めると同時に観光事業を行い、新たな観光の中心地として、パンフレットやメディア等の広告媒体を利用した宣伝を促進し、交流人口の増加を図りたいと考えている。
---------	--